

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

- 1 私たちは、法令等を遵守します。
- 2 私たちは、吉浦小の子供と学校を守ります。
- 3 私たちは、自分と家族を守ります。

不祥事根絶のための行動計画

呉市立吉浦小学校
作成責任者 校長 税所 正紀

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経験年数が浅い若手教職員が増え、より丁寧な指導や対応が必要である。 ○ 学校付近の交通事情により、「交通事故」が生起する可能性がある。「体罰」「個人情報管理」において、危機管理意識の温度差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員が当事者意識をもって研修できる内容と方法を工夫する。 ○ 交通法規を遵守、事故を起こさない心構えをもち、心身を健康に保ち、冷静・安全な運転をする。 ○ 児童理解に努め、個に応じた適切な指導や対応をする。 ○ 個人情報の適切な管理をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ タイムリーな事例や身近な事例に基づいた研修を増やしたり、アンケート調査に基づいて改善したりする。 ○ ヒヤリハットの情報共有により、不祥事防止の意識を高める。 ○ 事例研修やアンガーマネジメントにより、児童理解や指導の在り方等を共通認識する。 ○ 机上整理の声掛けをしたり、業務改善により仕事の持ち帰りを少なくしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学期末に、服務研修の実施方法や内容について意識調査・評価を行う。 ○ 学期末にヒヤリハット事案についてのアンケートや不祥事防止のチェックリストを行う。 ○ 毎日管理職が声掛けや点検する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○ 協働体制を確立し、不祥事を生起させない組織づくりをしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職務の遂行を組織的に進め、職員同士のコミュニケーションを促進する。 ○ 教職員の自己肯定感やモチベーションを高めることにより、心にゆとりをもち、職務に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複数体制や「報告・連絡・相談・確認」を徹底する。 ○ 学校通信や校長だより等で教職員のよさやがんばりを発信することにより、教職員の自己肯定感を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的または臨時に主任会を開き、職務の進捗状況の確認や気になることなどの情報共有をする。
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ スクールカウンセラーにつなぐ必要があるケースで、保護者の協力を得られにくい家庭がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ふれあい相談窓口」やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの相談について、定期的に周知を行い、相談しやすい環境づくりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ふれあい相談窓口」やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの相談について、随時周知する。相談日を参観日や個人懇談会等、保護者が来校する機会に設定し、相談しやすくする。 ○ 教職員のカウンセリングマインドやスキルを高め、児童や保護者が相談しやすい環境をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学期に児童・保護者・教職員を対象にアンケート調査を行う。